

## 令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業 実績報告

## (ウ) 伝統的ものづくり学校巡回教室

## 1 概要

次世代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについて理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に実施した。

高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に、香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野の職人の方のお話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見てもらったり、簡単な体験をしてもらう内容で実施した。

## 2 実施校

令和元年度			
	小中学校名	学年	参加人数
①	屋島東小学校	6	21名
②	新番丁小学校	6	136名
③	木太南小学校	6	111名
3校			268名

参考：平成30年度			
	小中学校名	学年	参加人数
①	花園小学校	6	49名
②	木太南小学校	6	100名
③	中央小学校	4	150名
3校			299名

## 3 課題及び成果

- ・香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野を体験や実演などを織り交ぜながら一同に学ぶことが出来る機会を提供できた。
- ・児童生徒全員が入れる広い場所が必要なため体育館を使用した。空調が整っていないため、気温の影響を受けやすかった。開催時期を学校側と調整した上で実施する必要がある。

